

2023年8月10日

各 位

会 社 名 株式会社アマナ
代 表 者 代表取締役社長 進藤 博信
(コード番号 2402 東証グロース市場)
問合せ先 取締役最高財務責任者 伊賀 智洋
(TEL. 03-3740-4011)

販売費及び一般管理費、営業外収益、特別利益、特別損失及び 法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ

当社は、2023年12月期第2四半期連結会計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）において、販売費及び一般管理費、営業外収益、特別利益、特別損失及び法人税等調整額（益）を計上いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 販売費及び一般管理費（貸倒引当金繰入額）の計上について

当社が保有する営業債権について回収可能性を検討し貸倒引当金を計上したことにより、貸倒引当金繰入額を連結決算にて43百万円計上いたしました。

2. 営業外収益の計上について

(1) 為替差益

為替相場の変動により、為替差益を連結決算にて42百万円計上いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間では48百万円となりました。

なお、当該金額は2023年12月期第2四半期末時点の為替差益であり、今後の為替相場の変動によりこの金額は変動いたします。

(2) 貸倒引当金戻入額

当社の連結子会社が保有するその他債権のうち貸倒引当金を計上している債権について、当該債権の一部が回収され貸倒引当金を戻入れたことにより、貸倒引当金戻入額を連結決算にて12百万円計上いたしました。

(3) 受取保険金

当社は、事業を行ううえで発生する事故やトラブルに備えて保険を付しており、当該保険による保険金を受領したことにより、受取保険金を連結決算にて5百万円計上いたしました。

(4) 助成金収入

当社の海外子会社における財政支援金の受領等を助成金収入として計上したことにより、助成金収入を連結決算にて7百万円計上いたしました。

(5) 持分法による投資利益

持分法適用会社である関連会社5社の決算報告に基づき持分法を適用した結果、持分法による投資利益を連結決算にて3百万円計上いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間では持分法による投資損失0百万円となりました。

3. 特別利益（関係会社清算益）の計上について

当社は、2023年6月30日付開示「特別利益の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、持分法適用関連会社であった株式会社Ca Designの清算（清算終了日 2023年6月22日）に伴い、連結決算において持分法適用関連会社からの除外処理を行った結果、関係会社清算益を連結決算にて1百万円計上いたしました。

4. 特別損失の計上について

(1) 上場契約違約金

当社は、2023年7月4日付開示「特設注意市場銘柄の指定および上場契約違約金の徴求に関するお知らせ」に記載のとおり、上場契約違約金を連結決算及び個別決算にて960万円計上いたしました。

(2) 特別調査費用等

当社は、過去に当社従業員により不適切な取引が行われていたこと、及び当社取引先において当社を通じた不適切な取引が行われていたことが判明いたしました。

これに伴い、特別調査委員会による調査及び過年度決算の訂正に要した費用（監査法人の監査費用、外部委託費用等）について、連結決算及び個別決算にて660百万円を2023年12月期に特別調査費用等として特別損失に計上する見込みとしておりましたが、2023年12月期第2四半期連結会計期間に発生した金額463百万円を連結決算及び個別決算にて特別調査費用等として特別損失に計上したことにより、第2四半期連結累計期間では656百万円となりました。

5. 法人税等調整額（益）の計上について

当社は、2023年12月期第2四半期末時点において、税効果会計にかかる将来減算一時差異及び将来加算一時差異の再計算を行った結果、繰延税金負債の取崩が発生したことにより、法人税等調整額（益）を連結決算にて2百万円計上いたしました。

6. 業績に与える影響

上記4.(2)による2023年12月期の業績に与える影響等につきましては、本日公表の「2023年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した2023年12月期の連結業績予想に織り込み済みとなります。

以 上